

豊かな自然と伝統文化の郷 よねかわ

発行元: 米川地域振興会

発行日: 平成26年1月1日

第 33 号

米川新聞

26. 1

歴史探訪シリーズ「ふる里の歴史を知ろう」

隠れキリシタンと製鉄 その2

当時、伊達藩の鉄の生産量は全国一であったと考えられ、徳川幕府から「伊達恐るべし」と思われたのです。そのため、伊達藩内のキリスト教信者への弾圧は、特に厳しくなりました。

1624年の正月に、仙台の広瀬川でカルバリヨ神父ほか8名の人が、真冬、水牢の中で殉教しました。伊達藩では禁教が厳しくなるとすぐ、主だった武士や神父にたいして転宗を呼び掛けました。そして、この中には、熱心なキリスト教信者で伊達藩士である後藤寿庵もはいていました。しかし、後藤寿庵は転宗しませんでした。討手として向かわせられた片倉小十郎は、7日間で着くところを途中で狩をして一か月もかけ、後藤寿庵の逃走を助けたと言われています。

1636年政宗が亡くなり、製鉄に努力し伊達藩のためにつくした人々の住む狼河原村や大籠村にも弾圧は及びました。1639年と40年に多くの殉教者が真っ赤な血を谷川に流したのが、この地蔵の辻です。地蔵の辻の処刑の時に、役人がこの石の上に腰をおろし、処刑されていく人々を一人一人確かめたものと伝えられています。この地方での最初の大処刑地だったのです。1640年にはこの「上の刑場」で94名の殉教者が葬られました。祭畑刑場では、逃げた人々を鉄砲で撃ち殺したと伝えられています。この2年間に合わせて300名ものキリシタンが殉死しました。製鉄を行うキリシタン全員を保護したかった伊達藩も、幕府の命令に背くことができなかったのでしょう。しかし、多くの人々が処刑されたにもかかわらず、畑屋(どうや)八人衆とその家族は一人も処刑されなかったのです。伊達藩の第一の特産物である製鉄に優れた技術を持っていたため畑屋八人衆は救われたのです。

この弾圧にも屈せず、人々は山の中に洞窟を掘ってキリスト教の信仰を続けました。大柄沢畑屋で働く人々などが、隠れキリシタンとして信仰を行ったのです。大柄沢畑屋で働く人々を見送るような方向に向かってマリア観音像が立てられています。信者の人々は朝夕の通りにこのマリア観音像を拜んで通ったのでしょう。弾圧のため一度はばらばらになった隠れキリシタンが、再び製鉄を行うために、狼河原村と大籠村に集まるようになったのです。同時に、キリシタンの数も再び増えていきました。畑屋は、谷川沿いの平らなところに作られました。今は田んぼですが、以前は畑屋があった場所です。この場所の上の方に石の小さなお宮が見えます。土地の人たちはここを通称「はやり神様」と言い、大八郎兄弟が布教をしたところだと言われています。キリスト教だと知られないように「はやり神様」と言って、カモフラージュしたのでしょう。そして人々は隠れ部屋を作り、フランシスコ・バラヤス神父を保護しました。また、苦行仏に似せて作ったキリスト像……箱丁位牌という位牌の箱のふたの裏に十字架を描いたりしながら信仰を続けました。何のへんてつもなしの石の裏に十字架を刻んだ石……表を見ただけでは普通の仏像と変わらず、裏には立派な十字架がついている鉄製の仏像など、多くの隠れキリシタンの苦勞を知ることができます。

1639年に始まった大弾圧から70年ほど後の享保年間に、海無沢で120人が処刑され、40人位ずつ三か所にお経と共に埋められました。これが三経塚と呼ばれています。この三経塚の処刑を機会に、隠れキリシタンの信者も少しずつ減っていったのです。しかし、製鉄は明治時代までも続き、この地方に潤いをもたらしました。製鉄は伊達藩の発展に役立ったばかりでなく、日本の国の発展のために大きな役割を果たしたことは言うまでもありません。いつの時代でも多くの人々の苦勞や犠牲によって、土地が栄え、歴史がつづられていくことを忘れてはならないのです。(おわり)

参考文献 「洞窟は待っていた」 仙北隠れキリシタン物語 沼倉良之著
・大籠の切支丹と製鉄 岩手県藤沢町文化振興会

おもてなしの心 あふれる笑顔

Hospitality 米川公民館 and Smile



K.M



Y.N



Y.O

発行元
発行責任者
郵便番号
住所
Tel
Fax
E-mail
URL

米川地域振興会(米川公民館内)
及川 浩
987-0901
登米市東和町米川字四十田25番地1
0220-53-4155
0220-23-9030
yonekawa.kou@chime.ocn.ne.jp
http://miyagi-Yonekawa.com/□



謹賀新年

旧年中は地域の皆様にご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。
本年も地域のみなさんに親しまれる
米川地域振興会を目指してまいります。
本年もよろしくお願い申し上げます。



平成26年元旦 米川地域振興会 会長 及川 浩



内藤講師

真剣に学習する参加者

な学受行の働 開米月ラ事集を活
2どで講わ内キこ 催川12ン業落目か地
日の、しれ藤1の。公日ド等自た域
目ノ開ま、善スセ 館13ー、立し一の特
はウ発し地次タミ で日を「再たま徴
実ハ・た域郎ッナ セの目特生事ちを最
習ウ生。の氏フー ミ2指産緊業づ大
でを産初方を、 ナ日し品急く限
舞習販は名い京師 1間、の対過に
茸。売座がて〜に を、12ブ策疎

加工特産品開発 セミナー開催

過疎集落等自立再生緊急対策事業

もと まきは 行く量材ご
検し今しそん参い試にやは
討て回たうの加ま作戸調ん
中、の。素者し。惑味の
。第セと以かた参い料素
2ミの外ら。加なな
回ナ意には者らがを
セー見もでら精試作
ミを応舞試も密作
ナ起頂用茸食楽な。
1点きでごもし計食

試作した
パック



楽しく真剣に実習する参加



米川公民館で米川若草会のみなさん

本が高各は品座タてやにま 皆1で公国場
は感い会講ので！登サーで今さ0出民際 12
家じ関場師展しの米1でも回ん8前館交全月
のら心共の示た講地ビ介元のが人講・流活3
中れをに話も。師域ス護気テ参の座綱セ改日
でた抱質をあ当を包、保に！加長が本ン善と
の。い問真り日招括予険暮マし生開親タセ5
挨介ても剣、はい支防のらはま大催和1ン日
拶護い多に参介て援にしす「し学さ会・タに
のるく聞加護のセつくたいた生れ館米14
お基の、き者用講ンいみめつ。の、〜川・会



綱木親和会館で綱木綱社会のみなさん

者満葉いつたがは
全にがーてだとう
員な何ときいう
がるよ相ま・・お
感とり手す・ご
動教大を・おめ
しわ切思行かん
てり、でいつえな
い、家やてりさ・
た。参族るら・い
加円言や行・り

米川長生大学 第3回講座 『田前講座』開催



よねかわ情報コーナー(催し物)

米川新春懇談会

日時:平成26年1月19日(日)

10:00~

場所：米川公民館

会費:1,000円

主催：米川地域振興会

問合せ:米川公民館 ☎53-4155



クール米川プロジェクト

(地域づくり支援プロジェクト)

月日：平成26年2月3日～6日

内容：関西の学生10名が米川を訪れ、視察と交流で「地域づくりプラン」を立案。

場所:米川全域 (活動拠点:米川公民館)

主催：米川地域振興会



隠れキリシタン・製鉄物語
米川公民館でチケット販売中

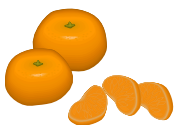
米川公民館 俳句教室

選者：俳句教室講師 藤野尚之 氏

12月の兼題　マスク　初雪　蜜柑

初雪を払って入る金色堂
高架橋つなぐ瀬戸内蜜柑山

配られし甘き蜜柑の句会かな
ひとつまたひとつ手が伸び蜜柑むく
初雪の蚕飼の峰の輝けり
姉見舞ふ紙布のマスクを渡さるる
足繁くマスク美人の白衣かな
また元の二人に戻り蜜柑剥く
マスク越し眼鏡曇りて先見えず
初雪や青城句碑は凜として
盆栽の蜜柑窓辺に工務店
マスクして椅子に待つ人皆無口
病院の長椅子並ぶ白マスク



米米米錦米米米米米米米
川川川織川川川川川川川

村上君枝
及川豊子
及川ヤ工
及川裕子
小野寺好道
千葉富子
千葉勝保
及川守男
小野寺和彦
岸名和子
千葉サキコ



ふれあい出前講座「押し花教室」

月日 時間 場所

- ① 1/27 9:00～ 米川公民館
② 1/28 9:00～ 東和国際交流センター
③ 1/29 9:00～ 及甚と源氏ポタル交流館

主催：米川公民館

全戸にチラシ配布致します。



今年度2回の「理教室」が、今回も「リクエスト料理」を調理するよう男性と鍋の素を使用したところ、そんなに便利なものがあるのかとビックリしていいようにできた。

[illegible]

好評

男の料理教室開催
冬は鍋料理！ 米川公民館主催

米川公民館主催

地域おこし協力隊活動レポート

浦田紗智

【そば打ち対決】

12月15日、綱木親和会館でそば打ち対決が行われました。

綱木の佐藤嘉浩さん VS 兵庫の中川正康さんの対決です。佐藤さんは自家製そば粉：小麦粉＝8：2、中川さんは兵庫産そば粉＋山芋と、それぞれの材料で打ちました。兵庫から取り寄せたそば粉は、綱木の住民が代わる代わる打ち、ほとんどの人が初めてですが、何とかそばにはなりました。対決の結果は・・・綱木の佐藤さん9票、兵庫の中川さん7票と、僅差で佐藤さんに軍配が挙がりました。話が盛り上がり、「綱木をそば街道にしよう」という声まで挙がりました。今後、展開が楽しみです。 名前は・・・456(すごろく)そば??

そば打ち
参加者

【新春懇談会で「能」を舞います】

新春懇談会(1月19日)に能(観世流・仕舞)で出演させていただくことになりました。大学時代、京都で観世流の能をお稽古しました。今回は新年にふさわしいおめでたい曲を披露します。浦田の他、京都や滋賀から、能の仲間3名が駆けつけてくれます。

仲間のうち、前田氏は米川地域を訪れるのは今回で4回目、菊川氏は3回目。2人は今までも鱒淵馬頭観音の春季例大祭に出演させたもらったことがあります。その他、綱木の行事にも参加してくれています。前田氏は「圃場や谷間を走る道の先に、本当に暖かな人の生活があることに、毎回驚きを覚える」と感想を話してくれました。

来る度にこの地域の人や自然に元気をもらって帰っていきます。住民の方との交流も楽しみにしてくれています。色々なお話を聞かせていただきたいと思います。



1月の予定

1	水	休館
2	木	休館
3	金	休館
4	土	
5	日	
6	月	江ア体力づくり教室
7	火	
8	水	かた教室
9	木	
10	金	つるし飾り、あばせ教室
11	土	土曜学習教室、剣道少
12	日	ことばがけプロジェクト
13	月	江ア体力づくり教室
14	火	レダツ教室、福扇会
15	水	米小PTA、わいわい広場、かた教室 剣道少
16	木	柳絮会俳句教室、あばせ教室
17	金	絵手紙教室
18	土	土曜学習教室、剣道少
19	日	米川新春懇談会、黎明の郷づくりの会
20	月	江ア体力づくり教室、福扇会、剣道少

21	火	竹峯会、レダツ教室
22	水	剣道少
23	木	あばせ教室
24	金	絵手紙教室
25	土	土曜学習教室、剣道少
26	日	
27	月	押し花教室、江ア体力づくり 福扇会、剣道少
28	火	レダツ教室
29	水	剣道少
30	木	あばせ教室
31	金	

2月の予定

1	土	土曜学習教室
2	日	
3	月	米川古文書学習会、江ア体力づくり教室 レダツ教室
4	火	
5	水	かた教室
6	木	あばせ教室
7	金	
8	土	土曜学習教室、登米市体育協会

※公民館事業又は利用許可申請済の団体のみ記載

米川の世帯数と人口

平成25年11月末現在

行政区	世帯数	男	女	計(人)
1区	181	168	186	354
2区	122	166	162	328
3区	114	174	182	356
4区	99	152	129	281
5区	79	119	121	240
6区	90	135	132	267
7区	72	103	110	213
8区	112	127	147	274
9区	72	75	110	185
10区	42	71	65	136
計	983	1,290	1,344	2,634

編集後記

あけましておめでとうございます。
輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び
申し上げます。旧年中は地域の皆様方に多大な
ご支援ご協力を賜りまして感謝いたします。
「冬来りなば春遠からじ」と昔の人は言いました。
この寒い時期の先には、また春がめぐってきます。
それまで身体に気をつけて、風邪を引かないよう
にしたいですね。

米川地域振興会ホームページ
【宮城米川・里山だより】

URL: <http://miyagi-Yonekawa.com/>

